

シラバス(2017年5月)

アジア共同体とアセアン・グローバルゼーション

コースの意義と目的

昨今「アジア共同体」に関する議論が活発になされつつあるが、2015年に発足したAEC(アセアン経済共同体)もその前段階といえよう。アセアン10カ国は経済共同体を作り、次に安全保障と社会・文化を含めた共同体を完成させ、全体として非常に高度な「アセアン共同体」になろうとしている。現在アジアでは、南アジアの「南アジア地域協力連合」(SAARC, 1985)や中国主導の「上海協力機構」(SCO, 2001)等の連合体が存在するが、統合度において先端を走っているのがアセアンである。よってアセアンは「アジア共同体」を考えるとときの雛形であり、この形成過程、内容、問題点を押さえておくことは大変に重要である。

このクラスでは、アセアンの歴史、AECの中身、その周辺国への影響、グローバル化、経済統合、共同体といったことを勉強する。アセアンは海洋アセアン(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール)と大陸アセアン(カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム)に分けられるが、タイを除いた大陸アセアンは発展が遅れており、その開発が急務となっている。タイは大陸アセアンの中心に位置しておりその意味で同地域の発展を主導する立場にある。最近では(1)AECに加えて、自由貿易協定の更なる動き(東アジア地域包括的経済連携 RCEP、環太平洋経済連携 TPP、アジア・太平洋自由貿易地域 FTA 等)や(2)中国による「一帯一路」構想(アジア大陸全体を交通インフラで結び経済緊密化を図る)もある。また、文化、民族、社会、宗教、風習、言語等の多様性も考慮しなければならない。講義は、こうした分野を網羅した我々の教科書(2017年作成)を使用して行われる予定である。これらの講義は、「アジア共同体」の創成に必ずや資するものと確信する。

この授業は、英語で行われ主に現代貿易管理(iMTM)専攻学生を対象とするが、教養学部、経営学部や他の学部でも興味のある学生は取ることができる。

スケジュールと担当教諭	講義	日程 2018年
1 Dr. Sompop Manarungsan (PIM 学長)	アジア共同体とアセアンのグローバル化	(9/07)
2 Dr. Somrote Komolavanij (PIM)	アセアンの歴史	(9/14)
3 Dr. Tang ZhiMin (PIM)	アジア共同体と「一帯一路」構想	(9/21)
4 Dr. Ruengsak Kawtummachai (CP グループ)	AEC はアジア共同体の第一歩か	(9/28)
5 Dr. Veerisa Chotiyaputta (PIM)	タイ周辺国への外国直接投資の影響	(10/05)
6 Dr. Pithoon Thanabordeekij (PIM)	グローバル化と企業行動	(10/12)
7 Mr. Daisuke Hiratsuka (バンコク研究センター)	経済統合とアジア共同体	(10/19)
8 Dr. Mitsuhiro Kagami (PIM)	アジア共同体とグローバルゼーション及び中間試験	(10/26)
9 Dr. Kriengkrai Techakanont (タマサート大学)	アセアンの生産ネットワークと共同体	(11/02)
10 Mr. Souknilanh Keola (バンコク研究センター)	アジア共同体と内陸国—ラオスの歴史と社会	(11/09)
11 Dr. Thida Kyu (ヤンゴン経済大学)	自由化の初段階—ミャンマーの政治、経済状況	(11/16)
12 Dr. Suwannarat Meesomboonpoonsuk (タマサート大学)	タイの社会とアジア共同体	(11/23)
13 Dr. Usanee Kulintornprasert (PIM)	タイの教育とアジア共同体	(11/30)
14 Ms. Tipawan Apiwanworarat (PIM)	アセアンの交互作用文化と多様性	(12/07)
15 ワンアジア財団	特別講義及び期末試験	(12/14)

日時: 2018年1学期9月07日より12月14日まで、毎週金曜日 9:30-12:30(3時間授業)。

単位: 授業に出席し中間・期末試験を通った学生: 3単位